

出力アダプタ取扱説明書

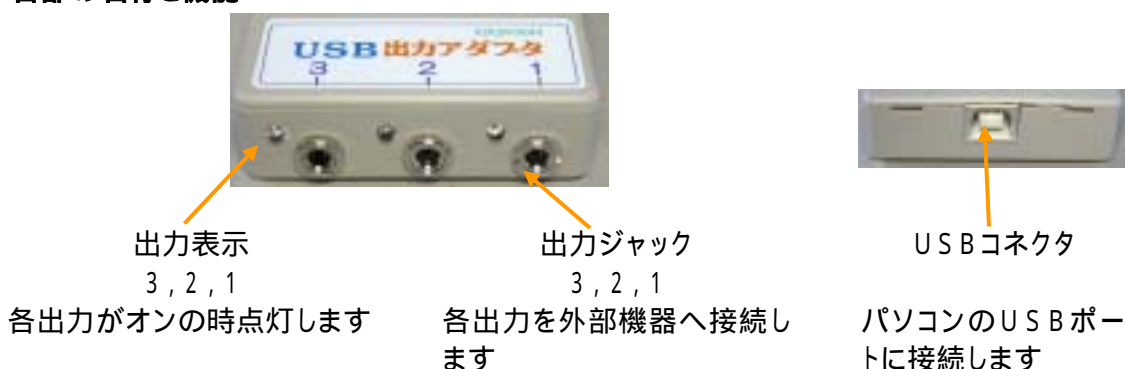
Rev.5.1

1. 概要

- 出力アダプタはパソコンから外部機器へオン / オフ信号を出力する装置です。
- 出力は3つあり個別に操作できます。
- パソコンの USB ポートに接続し、付属ソフトによりキー入力やマウス操作で出力を操作します。
- 操作を行うごとにオン / オフを交互に繰り返す動作と、オンの後指定した時間経つと自動的にオフになる動作を出力ごとに選択できます。

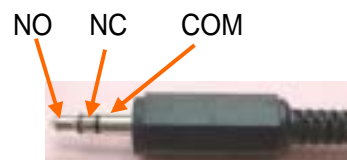


2. 各部の名称と機能



3. 出力仕様

リレー接点 接点定格 30VDC 2A 無電圧 無極性 絶縁
 「入」の時「COM」と「NO」がオン(ショート)
 「切」の時およびパソコンの電源がオフの時「COM」と「NC」がオン(ショート)



4. ドライバのインストール

- WindowsXP、2000の場合
1. USB ポートに出力アダプタを接続してください。「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。「Windows Update に接続しますか」と表示されたら「いいえ今回は接続しません」を選択し「次へ」を押します。
 2. 付属のディスクをドライブに入れ「一覧または特定の場所からインストールする」を選択して「次へ」を押します。



- 「次の場所で最適なドライバを検索する」および「リムーバブルメディアを検索」を選択し「次へ」を押します。
(ドライバは CD-ROM の xp2000 フォルダ内にあります)



- 右図のような警告が出た場合「続行」を押します。



- インストールが行われます。

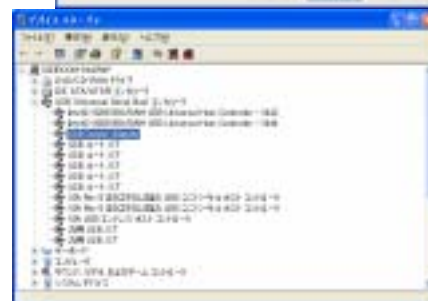


- 完了のメッセージが出たら「完了」を押します。



- 確認方法

[コントロールパネル] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]の[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]に「USB Output Adapter」が追加されていれば正常にインストールされています。



● Windows98 の場合

- USB ポートに出力アダプタを接続してください。「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。「次へ」を押します。
- 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択し「次へ」を押します。



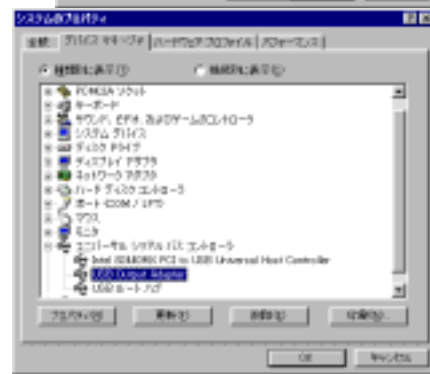
3. CD-ROM からインストールする場合「CD-ROM ドライブ」を選択し「次へ」を押します。
(ドライバはCD-ROMのwin98meフォルダ内にあります)

右図はCD-ROMがないパソコンで
Cドライブからインストールする例

4. 「次へ」を押して続行します。
5. 右図の警告が現れたら「OK」を押します。(CD-ROMを替える必要はありません)
6. 右図のように「ftd2xx.catが見つかりません」という表示が出たら「スキップ」を押します。
(ftd2xx.catはインストール不要です。ファイル名がftd2xx.cat以外の場合は3に戻り検索場所の指定をやり直してください)
7. 完了のメッセージが出たら「完了」を押して終了です。



8. 確認方法
[コントロールパネル] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]の[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]に「USB Output Adapter」が追加されていれば正常にインストールされています。

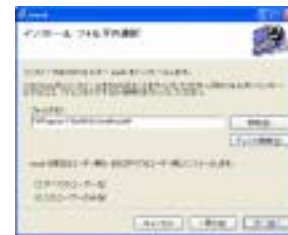


5. ソフトウェアのインストール

1. 付属ディスク setup フォルダ内の[setup.exe]を実行してください。
旧バージョンがインストールされている場合は下記6項を参照しアンインストールしてください。
2. セットアップウィザードが起動します。



3. インストールするフォルダを指定してください。



4. 「次へ」を押し「インストールが完了しました」と表示されたら「閉じる」を押して終了します。



5. 3で指定したフォルダ内の「iousb.exe」が実行プログラムファイルです。



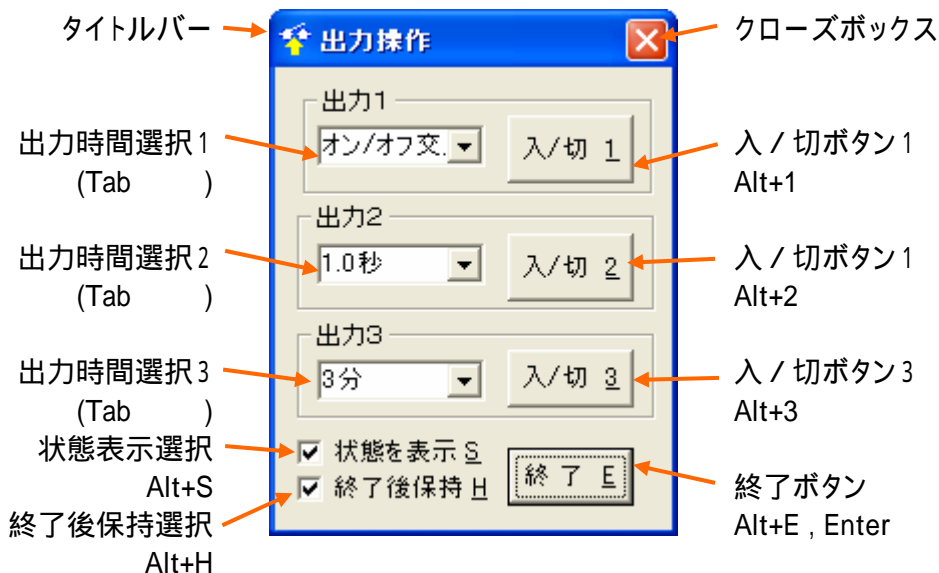
6. アンインストールを行う場合「setup.exe」を実行し「usbio の削除」を選んでください。旧バージョンの削除には旧バージョンの「setup.exe」を実行するかコントロールパネルの「プログラムの追加と削除」で行います。

6. 操作方法1 画面のボタンで操作する方法



1. 「iousb.exe」を起動します。

2. 操作画面



3. 入/切ボタン1、2、3を押すと出力1、2、3がそれぞれオン/オフします。

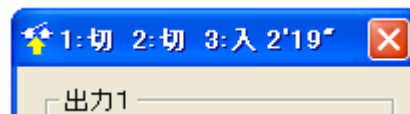
4. 出力がオンの時アダプタの出力表示が点灯します。

5. 出力1、2、3はそれぞれ独立して動作し、互いに影響しません。

6. 出力がオンとなる時間を出力時間選択1、2、3で指定します。

7. 出力時間選択で「オン/オフ交互」を指定した場合、入/切ボタンを押すごとに出力の状態が交互に反転します。(1回押すとオン、もう一度押すとオフ、さらに押すとオン)

8. 時間(0.2秒~60分)を指定した場合、入/切ボタンを押すと出力がオンとなり、指定した時間が経過すると自動的にオフとなります。
9. 時間を指定して出力がオンの時入/切ボタンを押すと出力はオフになります。(中断)
10. 状態表示選択を選択すると現在の出力状態がタイトルバーに表示されます。同じ内容はデスクトップのタスクバーにも表示されます。
11. 時間を指定して出力がオンのとき状態表示には残り時間(秒数)が表示されます。
12. 入力補助ソフトによってはタイトルバーの文字でソフトを識別します。その場合状態表示選択をオフ(非選択)にしてください。
13. 終了ボタンを押すと操作プログラムを終了します。出力時間選択などの設定内容は保存され、次回起動時に同じ設定で起動します。
14. クローズボックス[X]をクリックすると操作プログラムを終了します。この場合設定内容は保存されません。
15. 終了後保持選択を選択すると操作プログラムの終了後も出力状態を保持します。
16. 終了後保持選択を選択しないと操作プログラムの終了時に出力はオフとなります。
17. 時間を指定して出力オン状態の時終了後保持選択を選択して操作プログラムを終了した場合出力はオンのままで、指定した時間が経過してもオフにはなりません。



7. 操作方法2 コマンドライン入力で作成する方法

入力補助ソフト(オペレートナビなど)を経由して操作するときなど、画面のボタンによる操作が適切でない場合コマンド形式で実行できます。

- 実行ファイル名 iousb.exe (操作方法1と同じ)
- 指定方法 最大3つの引数で指定

iousb C M W

C:出力チャンネル指定

- 0: 全チャンネルオフ
- 1: チャンネル1
- 2: チャンネル2
- 3: チャンネル3

省略: 画面操作(操作方法1)で起動 (C省略時 M,W 指定不可)

上記以外の文字: 指定方法(ヘルプ)画面を表示

M:出力方法/時間指定

- 0: オフ
- 1: オン
- 2: 反転(オン/オフ交互)
- 3~60000: M x 0.1秒間オン (0.3秒~100分)

省略: 画面操作(操作方法1)の設定条件でオン/オフ (M省略時 W 指定不可)

上記以外の文字: 指定方法(ヘルプ)画面を表示

W:画面表示

0または省略: ウィンドウを表示しない(タスクバーに収納)

- 1: ウィンドウを表示する

上記以外の文字: 指定方法(ヘルプ)画面を表示

1. 動作および表示は基本的に画面による操作でボタンを押したときと同じです。
2. 出力方法 / 時間はコマンドによる指定が優先されます。
3. 3つの出力は個別に操作できますが時間を指定してオンにした場合指定した時間が経過するまで全出力オフ以外の操作はできません。
4. ソフトが起動した状態でさらにコマンド入力による起動を行うと、全出力がオフになります。
5. 出力方法にオフ(0)、オン(1)、反転(2)を指定した場合、ソフトは出力操作後すぐ終了します。
6. 時間を指定して出力をオンにした場合、指定した時間が経過すると出力がオフとなりソフトは終了します。
7. コマンド入力で起動した場合「終了後保持選択」の設定内容にかかわらず常に保持されます。
8. コマンド入力で起動後画面のボタンをクリックして操作することも可能です。